

第67回
東京都聴覚障害者大会
オンライン

全日ろう連
創立70周年記念映画
「咲む」上映会



とき 2020年12月13日(日)
ところ 渋谷区リフレッシュ氷川

第67回東京都聴覚障害者大会オンライン 次 第

第 一 部 式 典

- 大会会長のあいさつ 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構理事長・
東京都聴覚障害者連盟会長 栗野 達人
- 来賓のあいさつ 東京都知事 小池 百合子 様
都議会議員 石川 良一 様
- 会務報告 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構業務執行理事・
東京都聴覚障害者連盟事務局長 越智 大輔
- 大会宣言 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構業務執行理事・
東京都聴覚障害者連盟副会長 唯藤 節子
- 大会決議 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構業務執行理事・
東京都聴覚障害者連盟副会長 田原 直幸

第 二 部 記 念 講 演 「デフリンピック」

～世界最高峰の舞台上で最高のパフォーマンスを～

早瀬 久美 氏（自転車競技メダリスト・薬剤師）

第 三 部 ろう運動70周年記念映画「咲む」上映会

第67回東京都聴覚障害者大会オンライン 開 催 要 綱

- 目 的：東京都聴覚障害者大会は都内聴覚障害者の福祉向上を目的とする公益社団法人
東京聴覚障害者総合支援機構の公益目的事業として、都内聴覚障害者団体唯一
の公益法人としての認識を内外ともに広め、聴覚障害者への理解を深めるため
の啓発事業として「完全参加と平等」の理念に基づき、手話関係者、福祉、教
育、行政関係者等の都民と共に聴覚障害者問題の啓発・解決に向け、強力な連
帯を目指すものとして、年に1回開催されるものである。
今年には新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン形式（一部招待）で
開催する。
- 名 称：第67回東京都聴覚障害者大会オンライン
主 催：公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構
担当部署：東京都聴覚障害者連盟
後 援：東京都
実 施 日：2020年12月13日（日）
会 場：渋谷区リフレッシュ氷川（招待及び自宅オンラインができない方）
時 間：13：00～14：10（上映会14：30～16：30）
内 容：第一部 式典（主催挨拶、来賓挨拶、大会宣言・決議、会務報告）
第二部 ミニ講演「デフリンピックで夢を」デフリンピックメダリスト
※いずれもビデオ動画を配信（会場では投影）
第三部 「咲む」上映会（会場のみ、配信なし）

第67回東京都聴覚障害者大会オンライン 大会宣言

私たちの最大の目標であるデフリンピック東京招致は、今年に入ってから国会や都議会での理解が進み、オリパラの次はデフリンピックという機運も起こりつつありました。

そこに起きたのが、新型コロナウイルスパニックでした。この影響でデフリンピック招致はもとより、オリンピック・パラリンピックも延期され、世界中の大波乱が今も続いています。

しかし、どん底の時こそ本当の力が試される時です。オリパラに向けて手話普及事業に取り組み、都の差別解消条例制定で言語としての手話の普及や情報支援について求め、デフリンピック招致のため各所と交渉してきたことで、情報支援の重要性が各所に認識され、要望したその日のうちに都知事会見で手話通訳が付き、新型コロナウイルス対策支援として提案した遠隔通訳も実現しました。

新型コロナウイルスとの戦いはまだ続きます。しかし私たちは今までの運動の力を信じ、この未曾有の危機を乗り越えることがより強くなる機会としてとらえ、仲間とともに私たちの命を守り、組織や制度を維持するための取り組みを続けていくことをここに宣言いたします。

2020年12月13日

第67回東京都聴覚障害者大会オンライン

第67回東京都聴覚障害者大会オンライン スローガン

1. 2025年デフリンピックを東京で開催しよう！
2. 全地域の情報支援格差をなくし手話言語条例の制定を進めよう！
3. 施策や施設の連携による新しい支援システムを構築しよう！
4. 組織力を強化し福祉事業による新しい体制整備を進めよう！
5. 震災等の支援体制を充実させ災害時のいのちを守ろう！
6. ろう教育を充実し高齢ろう者を支援していこう！
7. コロナに負けないろう運動を頑張ろう！！

◇ 大会会長挨拶 ◇



公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構理事長・
東京都聴覚障害者連盟会長
栗野 達人

東京都聴覚障害者大会は本当なら、開催した主管区市で多くの方にご参集いただいておりますが、新型コロナウイルス感染の影響によりそれができなくなり、工夫した結果インターネットによるオンライン形式で第67回東京都聴覚障害者大会を開催できることになりたいへん

嬉しく思います。

本当に今年はコロナ感染の影響で大きな変化がありました。大変でしたが皆さんも同じ状況のことと存じます。

しかし私たちは、負けずに頑張ろうという強い意志を持っております。

2020年オリンピック・パラリンピックは、来年2021年の開催になりましたが、東京のパワーで成功させるべく私たちも一緒に支援していきましょう。

その次は2025年にデフリンピックの東京開催をめざして、皆で頑張らなければなりません。

そして何よりも命を守ることが大切です。コロナ感染を防ぐために三密を避け被災を防ぐこと。高齢者を支援し、地震などの災害から守る取り組みを続けなければなりません。

さらに手話言語条例の制定もあります。東京と地域において手話言語条例の制定とそれに基づいたコミュニケーション支援施策を進める必要があります。

これらのたくさんの目標を達成するために、皆さんとともにコロナに負けずに頑張るという強い気持ちを持ってやっていきたいと思っております。

2020年12月13日

◇ 来賓祝辞 ◇

東京都知事

小池 百合子

第67回東京都聴覚障害者大会の開催を心からお慶び申し上げます。

本大会は、聴覚に障害のある方が手話学習者など多くの関係者との連携を深め、聴覚障害者が抱える様々な問題の解決を図ろうとする大変意義深い大会です。本大会の主催をはじめ、聴覚障害者の福祉向上や社会参加への支援に向け活動されてこられた公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構並びに関係者の皆様の、長年にわたる御尽力に深く敬意を表します。



現在、都では、「東京都障害者・障害児施策推進計画」に基づき、聴覚障害のある方の自立と社会参加の促進に向け、多様な手段により情報の取得や意思疎通ができる「情報バリアフリー」に関する事業を着実に実施しています。

また、「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」を制定し、障害者への理解促進や差別解消を図るとともに、相談体制や紛争解決の仕組みの整備、情報保障の推進や言語としての手話の普及啓発を進めてまいります。

さて、私たちは現在、見えざるウイルスとの長い闘いの最中にあります。都は、何よりも大切な都民の命と健康を守るため、感染拡大防止に万全を期してまいります。そして来年のオリンピック・パラリンピックは、安全・安心が確保された大会を目指し、その成功を跳躍台として、すべての人がいきいきと生活し、活躍できる「ダイバーシティなまち・東京」の実現に向け、様々な取組を加速してまいります。今後も引き続き、障害者福祉のより一層の向上に向け、御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構の今後益々の御発展をお祈りするとともに、本大会の御成功と、参加されたお一人お一人の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、私の祝辞とさせていただきます。

東京都議会議長

石川 良一



第67回東京都聴覚障害者大会の開催を心からお祝い申し上げます。公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構の皆様におかれましては、長年にわたり聴覚障害者の権利を擁護し、社会参加を促進するための取組を献身的に進められ、福祉の増進に多大な貢献をされてこられました。栗野理事長をはじめ、歴代の役員並びに会員の皆様方の弛みないご尽力に対して、深く敬意を表するとともに、心より感謝を申し上げます次第です。

新型コロナウイルス感染症の流行は未だ収束の見通しが立ちませんが、長期にわたるコロナ禍を機に、私たちの社会が抱える様々な課題を解決し、聴覚障害者の皆様にとっても、より快適で暮らしやすい環境を整備していくことが重要です。

東京都はこれまでも、障害者差別解消条例の規定などを踏まえ、タブレット端末を活用した遠隔手話通訳などに取り組み、聴覚障害者の情報保障の充実に努めてまいりました。

今後は、遅れていた行政のデジタル化などを促進することで、聴覚障害者の方々の円滑な意思疎通や利便性の向上につながる環境をより一層充実させてまいります。

今夏には、一年延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。この大会を契機として、スポーツだけではなく、あらゆる分野・領域において障害を持つ方々が自らの能力を十分に発揮できるよう、心のバリアフリーやユニバーサルデザインのまちづくりを積極的に推進していかなければなりません。

都議会といたしましても、引き続き皆様と相携えながら、障害を持つ方々が住み慣れた地域で安心して暮らし、活躍の場が広がる共生社会の実現を目指して、全力を尽くしてまいります。

皆様方におかれましては、聴覚障害者の福祉の増進に向けて、より一層のご活躍をされますことを心から期待しております。

結びに、オンラインによる本大会のご成功と、貴機構の更なるご発展、並びに関係者の皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

会 務 報 告

昨年の第66回大会から一年が経ちました。この一年のほとんどは新型コロナウイルス感染拡大により、行事などの中止が相次ぎ、コロナ対策に追われた年でした。一年間の活動状況を報告いたします。

2019年

- 10月20日（日） 第66回東京都聴覚障害者大会（墨田区）
- 11月17日（日） TOKYOみみカレッジ2019（首都大学）
- 11月24日（日） たましろフェスタinあだち（足立区）
- 11月30日（土） 災害対策学習会&課題対策会議（渋谷区リフレッシュ氷川）
- 12月12日～21日 第19回冬季デフリンピック大会（イタリア）
- 12月26日（木） 第51回聴覚障害者施策推進地域担当者会議（渋谷区リフレッシュ氷川）

2020年

- 1月12日（日） 聴覚障害者スポーツみんなで応援しよう！（渋谷区恵比寿）
- 1月13日（祝） 高齢部 新年会（東京都障害者福祉会館）
- 1月13日（祝） 女性部 新年会（渋谷区リフレッシュ氷川）
- 1月18～19日 第46回関東ろう活動者研修会（栃木県鬼怒川）
- 1月26日（日） 2019年度第3回区市会長会議（日野市）
- 2月1日（土） 文化講座（渋谷区リフレッシュ氷川）
- 2月9日（日） 東京都手話通訳問題研究討論集会（渋谷区恵比寿）
- 2月22日（土） 相談員・差別協議会委員会会議&災害対策学習会（渋谷区恵比寿）
- 3月7～8日 （中止）第49回耳の日記念文化祭
- 3月14日（土） （中止）東京都のろう教育を考えるフォーラム
- 3月22日（日） 2019年度定期評議員会&公益法人社員総会（渋谷区初台）
- 3月27日（金） （中止）第52回聴覚障害者施策推進地域担当者会議

以後、実施事業のみ記載

- 6月12日（金） 高齢ろう会員コロナ支援資料・アンケート333通発送
- 6月15日（月） 2020年度定期評議員会（書面開催）
- 7月4日（土） 都知事選ビデオ上映会オンライン
- 7月7日（火） 2020年度定期社員総会（書面開催）
- 7月18日（土） 第22回自立支援センターまつり（展示・販売のみ）
- 7月25日（土） 耳の日記念講演会①（東京都障害者福祉会館）
- 8月1日（土） 耳の日記念講演会②（同上）
- 8月23日（日） 青年部 手話サロン オンライン
- 9月14日（月） 高齢部 定例会
- 10月24日（土） 全日本ろうあ連盟評議員会（分散開催）
- 10月29日（木） 高齢部 野外交流会（国営昭和記念公園）
- 11月17日（火） 高齢部 グラウンドゴルフ交流大会（日野市）
- 11月21日（土） 第14回災害対策学習会（渋谷区リフレッシュ氷川）
- 11月28日（土） 2020年度第1回課題対策会議（渋谷区新橋）

- 12月13日（日） 第67回東京都聴覚障害者大会オンライン+上映会（渋谷区）

記念講演

「デフリンピック～世界最高峰の舞台で最高のパフォーマンスを」

早瀬 久美 氏（自転車競技メダリスト・薬剤師）

<早瀬 久美 氏プロフィール>

旧姓は後藤、大分県宇佐市生まれ
聴覚障害者として日本で初めて薬剤師免許を取得。

デフリンピック2大会連続の銅メダリスト。

1998年（平成10年）に薬剤師国家試験に合格し、翌年に薬剤師免許を申請したが、障害者には免許を与えないとする薬剤師法の

欠格条項を根拠として申請を却下された。その後2001年（平成13年）、全国的な障害者運動による欠格条項廃止で免許を交付され、聴覚障害を持つ薬剤師免許取得者の第1号となった。

2009年（平成21年）、夫の早瀬憲太郎氏が開く聴覚障害者向けの学習塾の生徒がデフリンピックに出場したことに触発され、夫と共にデフリンピックへの出場を決意。

2013年ソフィア（ブルガリア）での夏季デフリンピックに出場し、マウンテンバイク女子クロスカントリーで銅メダルを獲得。2017年サムスン（トルコ）での夏季デフリンピックでは日本選手団の主将を務め、2大会連続となる銅メダルを獲得。

この功績により2013年（平成25年）に東京都民スポーツ大賞、2017年（平成29年）横浜市スポーツ栄誉賞を受賞。

またドーピングの専門家であるスポーツファーマシストの資格も持っており、デフリンピックでは2009年大会から日本選手団の医薬品管理も担当している。



ろう運動(全日ろう連創立)70周年記念映画『咲む』

「咲（え）む」は全日ろう連創立60周年（ろう運動60周年）記念映画「ゆずり葉」に続く、ろう運動70周年を記念して作成された、早瀬憲太郎氏脚本・監督の映画第二弾で本年2月に完成し、6月の全国ろうあ者大会での上映後、全国各地で上映活動が開始されるはずでしたが、コロナ渦のため上映活動が難しい状況になったためなかなか上映できないでいました。

しかし8月以後、各地でコロナ感染に留意しながらの上映活動が行われるようになり、東京でも映画館での上映や各施設の使用が条件付きながらもできるようになってきたことから、いよいよ上映活動を開始することになりました。

11月28日（土）に行われた課題対策会議において上映活動について区市聴覚障害協会に説明しましたので、その後各地（区市）で上映活動を行うこととなります。

各地での上映に先行して、本日12月13日のオンライン都大会と併せて上映会を開催いたします。





<アマビエ> 画:長谷川則之

アマビエという妖怪の絵を見ると疫病に感染しないと
言われています。

主 催 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構

担当部署 東京都聴覚障害者連盟

〒150-0011

東京都渋谷区東1-23-3

東京聴覚障害者自立支援センター内

F A X 03-5464-6057 T E L 03-5464-6055

E-Mail tfd@deaf.tokyo ホームページ <http://www.deaf.tokyo>